

サイエンスとテクノロジーで夢をかたちに 社団法人 応用物理学会の概要 (The Japan Society of Applied Physics)



御挨拶(会長:白木 靖寛)

応用物理学会は、1932年に創刊された雑誌「応用物理」を源流として、今日まで順調に発展してきました。約25,000名の会員の内、企業所属と大学所属の会員がそれぞれ45%、公立研究所などに所属している会員が約10%となっており、会員相互間の活発な交流が応用物理分野における基礎研究が産業界で花開くことに大きく寄与しております。学術講演会の開催、和文機関誌及び英文論文誌の刊行が本会の主たる事業ですが、全国7支部における地域ごとの活動、および専門分野を掘り下げて研究する分科会、研究会、新領域グループ等の活動も、学会活動を支える大きな支柱となっています。また、国内で開催される国際会議の主催・共催および海外の学会との共同シンポジウムを開催することにより、その活動のウイングを海外に向け広げつつあります。さらに、青少年対象の理科教室、人材育成事業等にも力を入れ、社会的な使命の達成にも努めております。



会長 白木 靖寛

I 目的(定款):

応用物理学に関する研究の連絡提携および促進ならびに
関連分野の促進普及を図り、もって社会の発展に貢献する。

II 設立: 1932年7月

法人認可: 1946年10月25日

会長 白木 靖寛(主務官庁: 文部科学省)

III 会員(2009年10月1日時点):

個人: 24,883名、法人: 821口

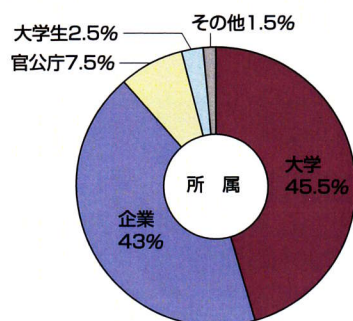


図1 応用物理学会会員分布

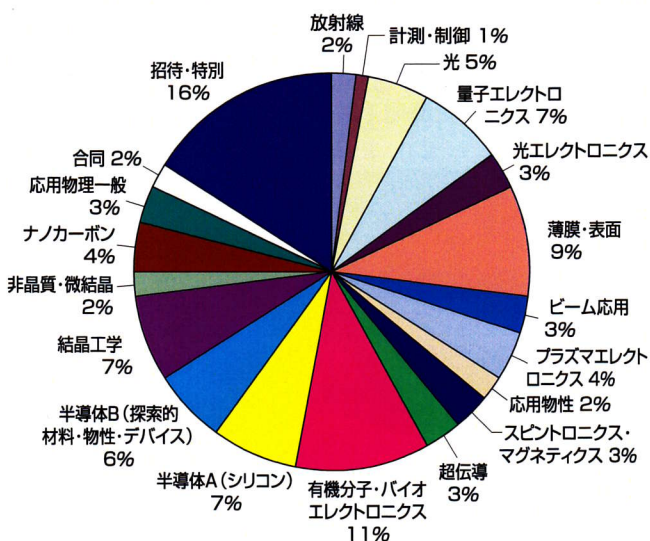


図2 講演の専門分野分布

IV 事業(2009年度、規模 9億700万円)

1)学術講演会(年2回開催)

- ・ 春季(関東地区)
講演件数: 4,500件、参加登録数: 約8,000名、
付設展示会: 約210小間
- ・ 秋季(7支部持ち回り)
講演件数: 4,000件、参加登録数: 約6,500名、
付設展示会: 約150小間

2)機関誌の刊行

- ・ 和文機関誌「応用物理」:
毎月10日発行、各号 22,000部、
総頁数 1,182頁



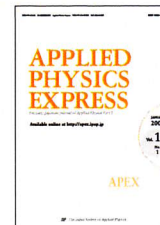
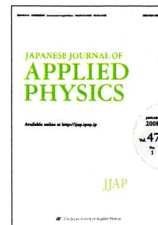
3)論文誌の刊行

①Applied Physics Express (APEX)

(2008年4月創刊の新レター誌、紙版、オンライン版)
Vol.2, No.1-No.12(2009年 1月~12月)
毎月25日発行、各号1,250部、総頁数 1,016頁
(オンライン版は週1回アップロード)

②Japanese Journal of Applied Physics (JJAP)

(紙版、オンライン版)
Vol.48, No.1-No.12(2009年 1月~12月)
毎月25日発行、各号1,250部、
総頁数 7,586頁(そのうち特集 11回 3,272頁)

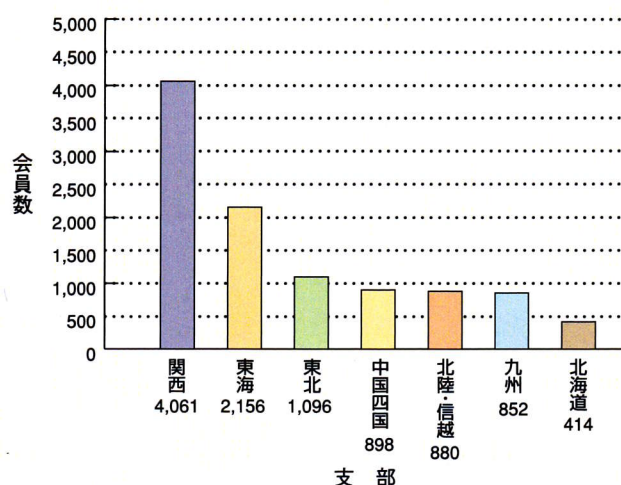


③英文論文誌オンライン版アクセス状況

利用登録者総数(個人):
APEX/JJAP: 60,480人(国内 4,903人、海外 55,577人)
年間ダウンロード総数:
APEX: 103,206件(個人 27,333件、機関 75,873件)
JJAP: 789,364件(個人 79,244件、機関 710,120件)
応用物理分野の論文で世界4位

4) 支部(7)

各地域での講演会・セミナー・研究会等の開催・支部貢献賞・支部発表奨励賞の実施・リフレッシュ理科教室等の開催



研究会(18)

量子エレクトロニクス研究会、新画像システム研究会、多元系機能材料研究会、SiC及び関連ワイドギャップ半導体研究会、光波センシング技術研究会、ランダム系フォトエレクトロニクス研究会、スピントロニクス研究会、シリサイド系半導体と関連物質研究会、次世代リソグラフィ技術研究会、テラヘルツ電磁波技術研究会、ナノインプリント技術研究会、フォトニックICT研究会、エネルギー・環境研究会、有機ナノ界面制御素子研究会、励起ナノプロセス研究会、集積化MEMS技術研究会、埋もれた界面のX線・中性子解析研究会、界面ナノ電子化学技術研究会

新領域(5)

衝撃応用研究グループ、磁場応用研究グループ、重力場応用研究グループ、機能性酸化物研究グループ、未来型循環社会(カウンターエントロピー)技術研究グループ

6) 国際会議(主催18件)

- ①有機エレクトロニクス・バイオエレクトロニクス国際会議
- ②3D System Integration Conference (3D-SIC)
- ③インジウム燐および関連材料に関する国際会議(IPRM)
- ④シリコン ナノエレクトロニクス ワークショップ(SNW)
- ⑤VLSI技術シンポジウムおよびVLSI回路シンポジウム(VLSI)
- ⑥アクティブマトリクスフラットパネルディスプレイ国際会議(AM-FPD)
- ⑦国際固体素子・材料コンファレンス(SSDM)
- ⑧半導体生産技術国際シンポジウム(ISSM)
- ⑨光メモリ国際シンポジウム(ISOM)
- ⑩マイクロプロセス・ナノテクノロジー国際会議(MNC)
- ⑪ドライプロセス国際シンポジウム(DPS)
- ⑫特別研究会「走査型プローブ顕微鏡」(ICSPM)
- ⑬アジア結晶成長及び結晶技術国際会議(CGCT)
- ⑭半導体のプロセス・デバイスのシミュレーションに関する国際会議(SISPAD)
- ⑮電気化学日米合同大会(PriME)
- ⑯ナノインプリント・ナノプリント技術国際会議(NNT)
- ⑰ナノテクノロジー材料・デバイス国際会議(NMDC)
- ⑱高分解能深さプロファイリングに関する国際会議

5) 分科会、研究会、新領域グループの活動

分科会(10)／刊行物

国内の研究会・シンポジウム・講演会の開催・国際会議の開催・分科会論文賞の実施・リフレッシュ理科教室

- 日本光学会／『光学』『Optical Review』
- 放射線分科会／『放射線』
- 応用電子物性分科会／『応用電子物性分科会誌』
- 薄膜・表面物理分科会／『News Letter』
- 結晶工学分科会／『Crystal Letters』
- 応用物理教育分科会／『応用物理教育』
- 超伝導分科会／『超伝導ニュース』
- 有機分子・バイオエレクトロニクス分科会／『Molecular Electronics and Bioelectronics』
- プラズマエレクトロニクス分科会／『Plasma Electronics』
- シリコンテクノロジー分科会／『シリコンテクノロジー』

7) 人材育成・教育事業

- ・ 青少年対象の理科啓発活動：リフレッシュ理科教室(25会場で開催、約3,500人(内440名先生))参加、親のための理科教室、物理チャレンジ・オリンピック日本委員会
- ・ 公開講演会
- ・ 日本技術者教育認定制度(JABEE)
- ・ 科学技術振興機構の理科支援員等配置事業への協力
- ・ 理数系学会教育問題連絡会への参画



北海道工業大学：2009年12月リフレッシュ理科教室
—でんきモノづくりの時間—での工作作業風景

8) 表彰・対外活動

表彰(本部)：

応用物理学会業績賞、応用物理学会論文賞、
応用物理学会講演奨励賞、APEX/JJAP編集貢献賞、
光・量子エレクトロニクス業績賞、光・量子集積技術業績賞、
女性研究者奨励育成貢献賞、応用物理学会フェロー

対外活動：

①学術団体への協力

日本学術会議第3部(総合工学委員会、電気電子工学
委員会、物理学委員会)、日本工学会、日本技術者教育
認定機構(JABEE)、

②海外の学会との協力

European Physical Society(EPS),
American Physical Society(APS),
The Institute of Electrical and Electronics Engineers(IEEE),
Institute of Physics (IOP),
The Korean Physical Society(KPS),
Optical Society of America(OSA),
Association of Asia Pacific Physical Societies (AAPPS),
Materials Research Society(MRS)等との協力

※主な賛助会員(50音順)

アルバック、ウシオ電機、沖電気工業、オリンパス、キヤノン、
コニカミノルタテクノロジーセンター、三洋電機、
JFEスチール、島津製作所、シャープ、住友電気工業、
ソニー、デンソー、東京エレクトロン、東芝、トプコン、
トヨタ自動車、豊田中央研究所、ニコン、日本電気、
日本電信電話、浜松ホトニクス、パナソニック、
日立製作所、日立電線、富士ゼロックス、富士通、
フジノン、富士フイルム、古河電気工業、三菱電機、
リコー、ルネサスエレクトロニクス、ローム

9) 2009年度のその他の主要な事業及び活動

- ①将来ビジョン(アカデミックロードマップ)作成事業
20分野のビジョンマップの更新と発展史マップおよび
横断型マップを作成。2010年3月発表。
- ②応用物理学アーカイブス(オーラルヒストリー調査)事業
応用物理学分野で優れた業績をあげた研究者10名
のインタビューを実施し、内容を順次公開中。
- ③和文機関誌「応用物理」のアーカイブ化とwebでの
公開
- ④APEXとJJAPに掲載される論文の国内外における認
知度の向上
- ⑤男女共同参画並びに人材育成への取り組みと男女共
同参画学協会連絡会への参加。「女性研究者・技術
者紹介」を本会HPに掲載。
- ⑥学術講演会のプレビュー発表
- ⑦キャリアエクス
プローラマークを
創設、博士のキャリア
相談会の実施
(2010. 春)



キャリアエクスプローラ
マーク



APEXの広報

2010年度 社団法人 応用物理学会役員

■ 会 長 白木 靖寛 (都市大)

■ 副 会 長 小長井 誠 (東工大)

■ 副 会 長 一村 信吾 (産総研)
(会長特別補佐 兼 事務局運営)

■ 常務理事

(総務) 羽根 一博 (東北大)
(広報・電子化) 波多野 睦子 (日立製作所)
(経理) 内藤 方夫 (農工大)
(事務局運営) 蔵田 哲之 (三菱電機)
(機関誌編集 兼 関西) 堀中 博道 (阪府大)
(刊行) 宗片 比呂夫 (東工大)
(APEX/JJAP編集) 田畑 仁 (東大)
(講演会企画運営 兼 東海) 堀 勝 (名大)
(人財育成・教育事業) 渡辺 美代子 (東芝)

■ 理 事

(総務) 藤原 聡 (日本電信電話)
(広報・電子化) 荒木 敬介 (キヤノン)
(経理) 藤枝 信次 (日本電気)
(機関誌編集) 和田 一実 (東大)
(刊行 兼 北海道) 笹木 敬司 (北大)
(APEX/JJAP編集) 斧 高一 (京大)
(講演会企画運営) 河田 聡 (阪大)
(人財育成・教育事業 兼 関西) 荒木 勉 (阪大)
(東北) 安藤 康夫 (東北大)
(北陸・信越) 山本 嵩勇 (福井大)
(関西) 上田 大助 (パナソニック)
(中国四国) 土屋 敏章 (島根大)
(九州) 平松 信康 (福岡大)

■ 監 事

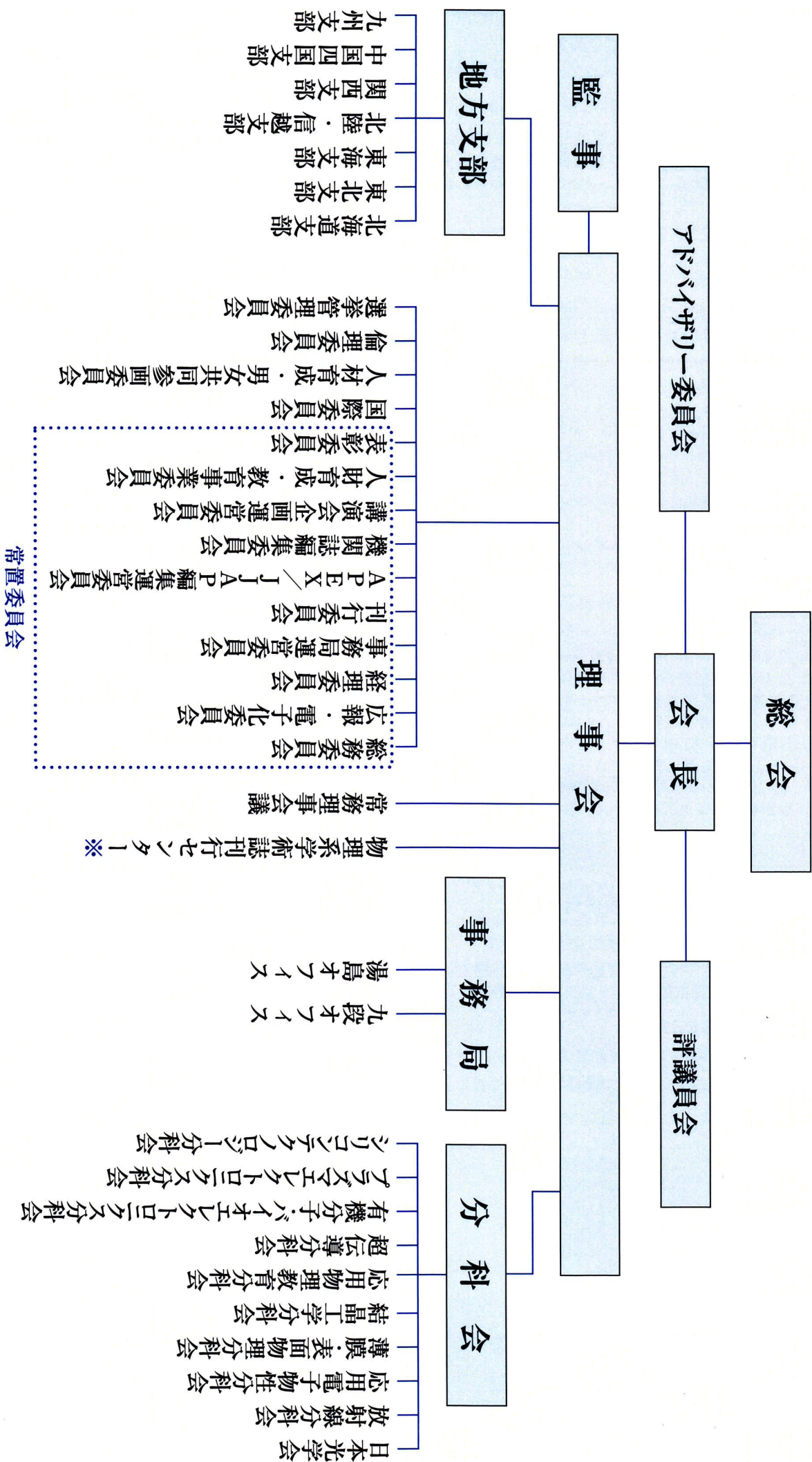
東 実 (東芝)
石原 宏 (東工大)

常務理事会議 — 代議員推薦委員会
— 将来構想委員会
— 学術・社会連携委員会

表彰委員会 — 業績賞委員会
— 論文賞委員会
— 講演奨励賞委員会
— APEX/JJAP編集貢献賞委員会
— フェロー表彰選考委員会
— フェロー表彰推薦委員会



(社)応用物理学会組織図



※本センターは、日本物理学会と共同で両学会の論文誌刊行事業のために、2008年4月に設置された。

2010.5.14改訂